

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和3年2月9日

事業所名 放課後等デイサービスめばえコスモス

保護者等数(児童数) 23(25) 回収数 18 割合 78 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	0	2	○スペースと職員数は十分に手厚いと思います。	→ありがとうございます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	0	0	0	○職員の方の在籍顔写真等で名前も把握できるとありがたいです。	→職員等の個人情報もありあリネット等で公にすることはできませんが事業所内掲示板には在籍職員の提示をしております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	1	8		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	0	0	0	○本人の特性を理解していただいている活動内容も楽しめる内容を考えていただいていると思います。 ○利用者個の性格等に合わせた計画がなされていると考えます。	→個や特性に重視した計画を考えております。 ありがとうございます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	3	0	0	○プログラム変更等が適宜SNS等で連絡されていますがLINE統一できるといいです。	→検討します。
保護者への説明等	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がないのない子どもと活動する機会があるか	1	1	12	4		
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるか	18	0	0	0	○送迎時に活動の本人の様子などを聞きたいけど人によって対応が違います。	→それはすみませんでした。対応いたします。 送迎状況によりあまり話が出来ないときもありますが、ご了承願えればと思います。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0	0	○困ったときはいつも相談にのってくれ心から助かれています。	→ありがとうございます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	6	6	3	○昨年まではされていたが今年はコロナなのでいいえにしました。	→すみません。 コロナが落ち着いたら4事業所合同の催しを行いたいと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	8		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1	0	0		
	14	個人情報に十分注意しているか	18	0	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	0	0	0	○マニュアルを頂いているので安心して預けることが出来ます。	→ありがとうございます。
非常時等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0	3	○避難訓練等の開示をお願いいたします。	→わかりました。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	1	○いつも楽しみにしています。	→ありがとうございます。
満足度	18	事業所の支援に満足しているか	18	0	0	0	○毎回楽しみにしているので安心しています。 ○助けられています。ありがとうございます。 ○いつも良いサービスをありがとうございます。	→お褒めの言葉を頂き、感謝しております。 →

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等ディーサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月9日

事業所名 放課後等ディーサービスめばえコスモス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	グループで外活動班室内班と分け空間ができるよう配置をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	2	人員基準を満たしている。	人員基準を満たしているが、グループ活動を行う際や、指標該当児の受け入れが多いため、まだ手厚く人員を補強する必要性を感じている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	7	→	貸家を利用してあり、玄関前会談には手すりは付いているが、バリアフリーの建物までは言えない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	正職員の中で決めることが多い。	全職員で参画しているとまでは言えないため、今後検討材料である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	事業所アンケートを12月に配布している。そのことを踏まえ職員間で検討をする。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	HPIにて公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	→	外部評価に関しては、香川本社との対応が必要である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	4	西サポート研修会の定期的な参加をしている。	内部研修の充実を図るため、対策を行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディーサービス計画を作成している	7	0	アセスメントをとり、保護者と目標のすり合わせを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5	→	サポートブックの検討を始める。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	立案に至っては児発管をメインに行っている。	チームで立案を行っているかという点では、どちらかといえばトップダウン型の立案が多い。作成は児発管、見直しは職員の構図で立案を行っていく。
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	活動プログラムが固定しないよう、グループ分けを実施、層に合わせた活動を計画している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	平日は余暇(室内または外活動)休日がグループの実態に合わせた外出を行っている。	外出先が固定しつつあるので検討する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディーサービス計画を作成している	7	0	その子その子に応じた支援、または小集団形成を心掛けており、計画に反映している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝の時間にミーティングを行い、配車やグループの確認、活動内容確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	朝の時間に昨日の様子を振り返り記録媒体を残している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	午前中に振り返りを行い、一日の個人ケースの記載を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディーサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	モニタリング会議を行い、計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	2	適宜検討し、支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	保護者に下校時間の確認及び送迎時間遅延等の連絡は直接学校の担任にお伝えしている。	ただ、連携の場面において学校側が対応を拒む場合もあり、連携がスムーズにいかない場合もある。 関係機関の連携において教育機関が福祉の重要性を受け止めることが必要性を強く感じる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	未回答	未回答	→	現在医療的ケア児の受け入れを行っていないが、以前受け入れていた経験がある。その際は主治医からの指示書及び保護者からの同意書や対処の方法を文書化したものを提出してもらう。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	未回答	未回答	→	2020年度は就学前の児童の受け入れを行っていない。 新一年生が入る時は保護者の同意のもと西部療育からの聞き取りを行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	未回答	未回答	→	2020年度は、卒業学年の生徒はおらず対応はしていないが、保護者から要望がある場合は、情報提供を行うようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7	→	現在コロナ禍のため、本年度は行っていないが、状況が落ち着き次第検討する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもも活動する機会がある	0	7	→	学童及び児童館での交流は、行政の支援も必要な項目であると考えるため、対応が難しい場合がある。 公園を利用しているときに地域の子どもたちを含め遊ぶことの交流はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0	児発管が西サボネット実行委員会に参画している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	子どもの状況及び保護者の状況を把握するため、綿密に話をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	7	0	保護者に児童の様子を伝え、問題行動に対する推測助言を行っている。個別対応している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に齟齬がないように説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	子の困り感に対し、保護者と対面もしくは電話等で児童発達支援管理責任者を中心に対応を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	未回答	未回答	→	例年なら餅つき会や夏祭りを実施し、保護者交流イベントがあつたが、コロナ禍のため中止している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情に関しては児童発達支援管理責任者が中心となり、聞き取りをして対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	行事予定の配布、ブログにての活動の様子を閲覧できるようにしている。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	個人情報に伴う書類は鍵付き書庫にて管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	連絡帳のやり取り、メール、電話連絡等で情報伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	未回答	未回答	→	コロナ禍であり、今年は交流に関しての計画を立てていない。 職員と地域住民との交流はあるが、児童との交流はないため検討が必要である。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	マニュアルに関しては(各災害時の避難先一覧等)保護者に書面にてお渡ししている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年二回の避難訓練を予定、実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止に関する研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	未回答	未回答	→	現時点で身体拘束を行わなければならない利用児はないが、マニュアルの作成及び周知を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	未回答	未回答	→	重度アレルギー対応時がないため、対応は現在行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	事例集を補完し閲覧できる状態にしている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和4年1月21日

事業所名 放課後等デイサービスめばえコスモス

保護者等数(児童数) 22(25) 回収数 17 割合 77 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1	0	1	○グループ別を実施してくれています。	→ありがとうございます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	2	0	0	○安心して利用させていただいております。	→ありがとうございます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	10	3		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17	0	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	0	1	1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	14	3		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるか	16	1	0	0	○相談しやすい環境で大変満足しています。	→ありがとうございます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2	0	0		
非常時等の対応	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	10	6		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	0	3		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0		
満足度	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	0	3		
	14	個人情報に十分注意しているか	16	0	0	1		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	0	0	0	○その時、その時素早く対応してくれます。	→イレギュラーなことにも柔軟に対応できるよう頑張ります。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	0	0	1		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	0	○とても楽しみにしています。	→ありがとうございます。
	18	事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0	○個別での対応素晴らしいです。	→ありがとうございます。個に寄り添った対応を心がけます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等ディーサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年1月21日

事業所名 放課後等ディーサービスめばえコスモス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	密にならないように外活動班室内班と分け空間ができるよう配慮をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	2	人員基準を満たしている。	人員基準を満たしているが、指標該当児の受け入れが多く、手厚い支援を行う際に、補強することは念頭におく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	8	→	玄関前階段には手すりがついているが、貸家のため、バリアフリーの建物とまでは言えない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	正職員にて検討し改善について考える。	全職員とまでは言えないので、仕組みづくりを考える。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	事業所アンケートを12月に配布し、アンケート結果を踏まえ、対策を考えている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページにて公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	→	外部評価に関しては、香川本社との対応が必要である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	オンライン研修及びアーカイブ放送にての個別での研修機会が確保できた。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディーサービス計画を作成している	8	0	本人の思いと保護者の意向を汲み取り、その子に応じた目標を検討し、保護者との擦り合わせを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	6	→	検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	児発管が立案し、職員で検討する流れがある。	
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	グループ別に特化しているため、その子の発達段階に応じた活動内容を取り組めることができている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	平日は基本余暇中心、休日は小グループでのコミュニケーション向上のための活動を意識している。	ただコロナ禍ということもあり、活動内容に関し、同じことをすることもあり、多角面からの支援方法を検討する必要性がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディーサービス計画を作成している	8	0	個に応じた支援、またはその個に合わせた小集団を意識しての活動を計画に反映している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝の時間に送迎、グループ、活動を話合い、役割を明確化してから支援をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	朝の時間に昨日の活動の様子、保護者の状況等振り返り、活動に關し再検討する時間を設けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	朝の時間に、昨日の出来事または特記を聞き、一覧できるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディーサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	児童の様子を職員間で把握し、検討、保護者に報告等を行い、計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	2	複数の組み合わせを行い実行している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	保護者とのやり取りが中心であるが、必ず確認を行っている。また遅延時は学校に直接連絡をし、行き違いが内容心掛けている。	連携の面において学校側が拒否する場面もあり、現状として教育と福祉の間に連携が難しい場面も生じている。学校によって良心的なところもあれば、そうでない学校もあり、対応を苦慮している部分がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	未回答	未回答	→	現在医療的ケア児の受け入れは行っていないが、以前受け入れたときには、主治医からの指示書及び、保護者からの同意書や対処方法を文書化したものを持出ししてもら、齟齬の内容対応を行っていた。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	未回答	未回答	→	2021年度は、就学前の児童の受け入れを行っていない。2022年度は受け入れを行う予定であり、療育センターとの打ち合わせを予定している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	未回答	未回答	→	保護者からご要望がある場合、文書化したものを、就労事業所に提出する予定である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7	→	コロナ禍ということもあり、専門機関の研修には参加をしていないが、西区自立支援協議会で行われる、児童分科会への参加は積極的に行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	→	活動において、障がいが軽いお子様に関しては、児童館を利用し、そこで過ごす子どもたちと交流を持つ機会がある。障がいが重いお子様に関しては、機会がないので、コロナ状況が落ち着き次第検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	0	児発管が西サボネット協議会に参画しており、職員も児童分科会の研修に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡帳及びニュアンスが難しい場合は、詳しく送迎時に児童の様子を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っている	8	0	適宜行っている。保護者により、アドバイスをわかりやすく伝えることを意識している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	保護者見学及び、契約時に齟齬がないように説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	保護者からの相談がある場合、対面もしくは電話等で対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	未回答	未回答	→	コロナ禍であり、2021年度は、今まで開催していた餅つき大会や夏祭りを実施していない。コロナが落ち着き、集団での活動が行われるようになってから、考えていこうと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	苦情に関しては、児発管が中心となり聞き取りをして対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	行事予定の配布や、お知らせ文書、メール、ブログにてお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	個人情報を伴う書類は鍵付き書庫にての保管をしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	連絡帳、メール、電話等にて伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	未回答	未回答	→	コロナ禍であり、今年は交流を行っていない。職員と地域の方とのつながりはあるが、児童とのつながりにおいてはまだない状況である。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	保護者に、災害別避難方法記載のマニュアルを作成しお渡ししている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	年に2回の避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	虐待防止に関する内部研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	未回答	未回答	→	現時点で身体拘束を行わなければならない利用児はないが、マニュアルの作成及び周知を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	未回答	未回答	→	重度アレルギー対応児童がいないため、対応は現在行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	事例集を保管し閲覧できるようにしている。	